



『インターネット文明』

村井 純 岩波書店／岩波新書（新赤版）

本 館	請求記号：X/081/I95V/2031	資料ID：701874497
神田分館	請求記号：X/081/I95V/2031	資料ID：701874190

法学部教授 岡田 好史

皆さんの周りがコンピューターであふれていることを知っていますか。パソコンだけがコンピューターではありません。スマートフォン、テレビ、電気炊飯器、電気やガスのメーターなどもコンピューターなのです。現代は、こうしたデジタルテクノロジーが社会全体にほぼ行きわたり、情報通信技術の発展とあいまって、個々の端末がネットワークとして結ばれることによって、生活の利便性を向上させてきた時代だと言えます。

インターネットが誕生して半世紀以上過ぎ、商用解放されてから30年以上が経ちました。全世界でインターネットの利用者は50億人以上となり、かつて漫画『攻殻機動隊』などのSFで描かれていた世界的規模のコンピュータ・ネットワーク社会は現実のものとなりました。インターネットは、もはや私たちの社会のインフラと化し、これなしに、私たちの社会は成り立たないといってもよい状況にあります。

新しいテクノロジーが生まれ、社会に浸透していく過程で対立が起こり、技術の悪用・濫用も生じてきます。プライバシー保護と不正の監視のバランスをどうとるか、不正行為に対する国際協調をどうとるかなどグローバルな課題に対応するためには、技術環境の構造や機能に対する正しい理解を前提とする必要があります。健全に社会を発展させるにはどうしたらよいか、私たちはどのように力を合わせられるのかを考えていく上での基本的な視座をこの本は提供してくれると思います。